

2025. 4 月速報 業況DIは消費マインド低迷等が足かせでほぼ横ばい。先行きはトランプ関税への懸念から慎重な見方

全産業合計の業況DIは、▲18.5（前月比+0.7ポイント）。サービス業は歓送迎会需要や観光需要により、ハレの日関係の利用が増えた飲食店が押し上げ改善。製造業はサービス業からの引き合い増加で、飲食料品関係を中心に改善しました。小売業では新年度需要はあるものの、消費マインドの低迷が足かせとなり、ほぼ横ばい。建設業は資材価格や労務

費の高騰で、卸売業は建設業からの引き合い減少やガソリン価格の高騰でそれぞれ悪化しました。新年度需要や観光需要は好調なものの、人手不足が継続しているほか、ガソリン価格やコメ価格をはじめとしたコストが増加しています。今後への不安感から消費マインドが低迷しており、中小企業の業況はほぼ横ばいにとどまりました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ➡改善 ➡ほぼ横ばい ➡悪化



資材価格や労務費の高騰によるコスト増が継続する中、価格転嫁が追いついておらず、悪化。トランプ関税による今後の設備投資需要の減少を懸念する声も聞かれた。

- ・「国や地方自治体の予算が資材価格や労務費の高騰に追いついておらず、公共工事において適正な価格での受注ができない。また、人手不足で受注機会を逃してしまうケースもある」（一般工事業）
- ・「トランプ関税で先行きが不透明になっており、設備投資需要が減少しないか不安である」（土木工事業）



歓送迎会需要や国内外からの観光需要の引き合いを受けた飲食料品関係が押し上げ、改善。一方、トランプ関税による今後の影響を懸念する声が多数聞かれた。

- ・「市内に観光客が多く、ここ最近はお土産となる製品の売れ行きがかつてないほど好調である」（野菜漬物製造業）
- ・「当社は直接の輸出は行っていないが、取引先の自動車メーカーがトランプ関税の影響を受けた場合には、関税引き上げ分の負担を求められることが懸念される」（自動車・附属品製造業）



幅広い業態でガソリン価格高騰の影響を受けているほか、建設業からの引き合い減少を受けた建築材料関係、ならびにコメの価格高騰の影響を受けた飲食料品関係が押し下げ、悪化。

- ・「資材価格の高騰が続いていることで引き合いが少なく、売上が悪化している。当面の間は状況が変わることはないと考えられ、厳しい経営環境に置かれると思う」（建築材料卸売業）
- ・「コメ価格の大幅な上昇で買い控えが起こり、売上が減少し続けている」（食料・飲料卸売業）



新年度需要はあるものの、コスト増や人手不足の継続、ならびに消費マインドの低迷による日用品の買い控えが足かせとなり、ほぼ横ばい。

- ・「新年度の挨拶の際に渡すことを目的とした贈答品の購入が多い」（商店街）
- ・「4月から多くの品目で値上げがされたという連日の報道に加え、トランプ関税による今後への不安感から、消費マインドが低迷しているように感じる」（総合スーパー）



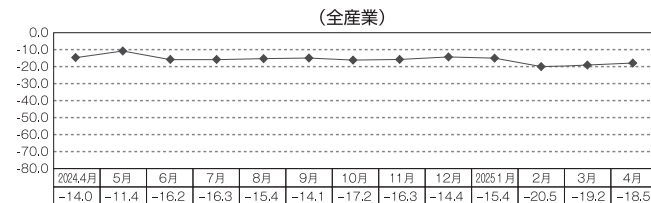
コメの価格高騰の影響はあるものの、歓送迎会需要や国内外からの観光需要により、ハレの日関係の利用が増えた飲食店が押し上げ、改善。

- ・「コスト増が継続しているため価格協議を行いたいが、2024年問題に対応するための運賃引き上げを依頼してからまだ日が浅く、価格協議の実施を躊躇してしまっている」（運送業）
- ・「足元ではインバウンドの来店が増加しているほか、歓送迎会をはじめとした大人数での宴会の開催も多い」（飲食店）

業況DIの推移

	2024年 11月	12月	2025年 1月	2月	3月	4月	見通し 5~7月
全産業	▲16.3	▲14.4	▲15.4	▲20.5	▲19.2	▲18.5	▲19.8
建設業	▲12.6	▲11.3	▲10.6	▲16.7	▲15.6	▲17.7	▲19.8
製造業	▲20.4	▲21.4	▲20.7	▲25.0	▲24.7	▲23.0	▲21.4
卸売業	▲19.0	▲17.5	▲17.2	▲19.5	▲17.6	▲23.1	▲24.4
小売業	▲23.2	▲20.2	▲19.7	▲28.5	▲23.1	▲23.5	▲28.0
サービス業	▲8.5	▲3.4	▲9.4	▲13.0	▲13.9	▲8.6	▲9.9

※見通しは、当月に比べて向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2025年4月14日～18日

全国321商工会議所が2,453企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりや意味する。

県内企業倒産発生状況

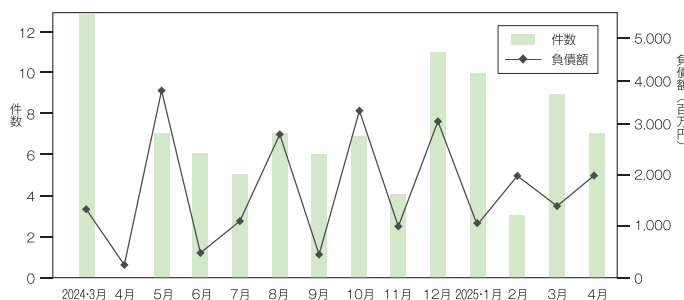
前年同月に比べて件数・負債共に増加

〈令和7年4月概況と見通し〉

県内の景気は、個人消費の底堅く緩やかな回復の動きも一因として、一部に弱めの動きがみられるものの持ち直していると考えられています。一方で、県の人口は100万人割れがすでに秒読みの段階にあり、さらに賃上げが進まない中で5月も食料品などの値上げラッシュが続くため、個人消費へ悪影響を与えることが懸念されています。個人消費の落ち込みは、景気停滞を招いて更に個人消費を押し下げる悪循環に陥る可能性があります。金融機関の貸出金利も上昇局

面に入っており、過剰債務を抱えた企業は収益が低下すると共に、新たな資金調達が難しい状況にあります。業績回復が遅れた企業では事業継続を諦める可能性もあり、今後も倒産件数は、息切れ企業を中心に一進一退を繰り返しながら緩やかに増勢していくものと見られます。

山形県 月別倒産件数 負債額



	東南置賜		山形県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和7年4月	0	百万円0	7	百万円2,038
前月比(%)	0.0	0.0	77.8	139.0
前年同月比(%)	0.0	0.0	175.0	763.3

東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和7年3月	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
食料	125.7	0.1	7.8
住居	108.3	0.0	1.2
光熱・水道	111.9	▲2.2	4.0
家具・家事用品	120.1	▲1.2	5.1
被服及び履物	115.1	0.9	2.5
保健医療	105.2	0.5	0.9
交通・通信	99.4	0.0	2.6
教育	100.0	0.0	0.0
教養娯楽	114.8	1.1	1.4
諸雑費	105.3	0.3	1.2
総合	112.3	0.0	3.7

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和7年3月 (単位：百万円、%)

品目	全 国		山 形 県	
	百貨店＋スーパー		百貨店＋スーパー	
	販売額	前年同月比 全店舗	販売額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	39,388	▲7.1	152	6.7
婦人・子供服・洋品	144,413	▲5.5	171	▲1.8
その他の衣料品	11,825	▲4.5	31	5.6
身の回り品	101,437	▲9.5	27	10.6
飲食物品	1,260,972	5.6	11,383	5.5
家具	8,337	4.1	77	5.1
家庭用電気機械器具	15,585	3.5	45	▲7.7
家庭用品	36,535	▲1.4	217	▲16.3
その他の商品	304,633	2.8	762	4.6
食堂・喫茶	12,321	▲5.2	33	1.5
合計	1,935,445	2.8	12,900	4.8

経済産業省 東北経済産業局調べ
(注：販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市の人口と世帯数

令和7年4月1日現在
人口 76,077人 (77,372人)
世帯数 33,396世帯 (33,468世帯) 一世帯当たり 2.28人 (2.31人)
() 内前年同月データ 資料／米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.19ポイント上回った

米沢市		新規学卒除きパートタイム含む			
		求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和7年3月	有効	2,885	2,266	1.27	302
	新規	1,065	611	1.74	－
前月比(%)	有効	103.6	105.1	98.4	192.4
	新規	131.5	121.2	108.1	－
前年同月比(%)	有効	106.3	90.5	117.6	85.8
	新規	117.4	108.0	108.8	－

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別 (山形県)

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	45	36	1.25
専門・技術	3,850	1,883	2.04
事務	2,535	4,710	0.54
販売	2,176	1,056	2.06
サービス	4,166	1,870	2.23
保安	634	136	4.66
農林漁業	424	326	1.30
生産工程	3,260	2,355	1.38
輸送・機械運転	1,054	529	1.99
建設・採掘	1,580	270	5.85
運搬・清掃	1,181	3,098	0.59
その他	0	1,317	－

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)
資料：山形労働局職業安定課

米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 件数・床面積とも前年を下回った

令和7年4月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
		1	4	5	147	402	549
前月比(%)	総 数	1	4	5	147	402	549
	新 築	1	4	5	147	402	549
	増 築	0	0	0	0	0	0
前月比(%)	総 数	－	20.0	25.0	－	18.7	25.5
前年同月比(%)	総 数	－	33.3	41.7	－	29.3	40.0

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物 (木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など)
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物 (2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など)

